



都市計画道路 次期整備方針策定へ —年末が最大の山場



東京都は都市計画道路の次期整備方針を2026年3月策定予定で、昨年10月から検討を進めています。今年8月には「中間まとめ」を公表し、パブリックコメントを実施。その結果を11月13日に公表しました。並行して、都区の検討会や専門アドバイザー委員会、合同策定検討会議を開催し、路線ごとの必要性検証や優先整備路線の選定を進めています。

この流れから、東京都は12月末までに整備方針案を確定し、来年1~2月に再度パブリックコメントを行う見通しです。10年前の第4次整備方針でも前年12月18日に案が公表されており、今回も年末が最大の山場となります。（詳細は都市整備局HP参照）私たちは東京都に情報開示を求め、計画見直しの働きかけを一層強めていきましょう。

都知事宛の署名提出 — 累計3,879筆に

都市計画道路をめぐる緊迫した動きの中、10月28日、52号線の会幹事と沿線住民代表5名が東京都庁を訪れ、小池都知事宛の要請署名第2次分1,136筆（累計3,879筆）を提出しました。

代表の中原甫記幹事は、都知事代理として対応した知事秘書課・北代崇課長に署名を手交し、「本日の趣旨をぜひ都知事にお伝えください」と強く求め

ました。北代課長は「ご説明いただいた内容は、知事および所管部署に確実に伝えます」と応じました。（写真①）



写真①

都議会・区議会への報告と協力要請

署名提出後、世田谷区選出の都議会議員8名に結果を報告。国民民主党都議団の坂本まさし幹事長とも懇談し、協力を要請しました（写真②）。

告し、住民運動への継続的な協力を求めました。



写真②

「大型道路NO」—住宅建設ラッシュの現実

2016年の第4次整備方針で52号線が優先整備路線に選定されてから10年間、計画予定地域では住宅建設や商店開業が相次ぎ、地域住民の「道路建設NO」の意思は明確です。

ク形成の見通しもなく、町づくりや防災の観点からも整備の必要性や緊急性は認められません。人口減少と車離れが進む中、現在も将来も52号線の整備は不要です。

さらに、52号線と交差する南北路線のネットワー

12月5日 都市整備局ヒアリングへ

都道52号線の会は、12月5日午前10時より都市整備局とのヒアリングを開催し、整備方針策定状況について直接意見交換を行います。同日には小池都

知事宛の要請署名第3次分も提出予定です。

いまこそ署名運動を一層強化し、地権者・区民の声を東京都に届けましょう。